

エアコンの修理に来たお姉さんと
うだるような暑さの室内で
汗だくセックスをした浪人生

暑いなんて通り越してしまっている。
まるで周りが熱せられた岩石のサウナに入っているみたいだ。

こんな蒸し蒸しの室内で、よりによって参考書を開いて受験勉強だなんて・・・。

俺の名前はアツシ。現在19歳だ。
行きたい大学へ行くために受験勉強中の浪人生だ。

浪人生の仕事はもちろん勉強。
とは言え、今は7月下旬の夏のど真ん中。
エアコンの壊れた室内でこれ以上勉強するのはさすがに限界だ。

俺は近くのクーラーの効いている公民館へ庭に停めている原付バイクで向かおうと、椅子から立ち上がった。

するとおっ！！

「ガッッチャ・・・」

一階の鉄ドアを開ける音。
なんだか聞いたこともない若い女の人の声が聞こえると思ったら・・・。

「トントントントンッ・・・」

足音は階段をゆっくり上がって来て、俺の部屋の前で止まった！！

「んっ！？？だ、誰ですかぁ！？？」

「あのっ！！エアコンを直しに来た佐藤と申しますっ！！」

やけに元気な声。

“そう言えば母が近いうちに工事業者さん呼んでくれるって言ってたな”

「あっ！そうですか、じゃあ入ってくださいっ！」

ガチャ・・・・。

するとっ！！

ブリンッ！

こぼれ落ちそうな巨乳が、胸元の開いた“普通ではない”作業着から半分くらい露出している。

薄い青色の上下のつなぎになっている作業着。もちろんそれは工事を仕事としている彼女の制服なのだろう。

しかしっ！！

彼女は驚くことに、脱ぎ始めたではないか。

体験版はここまでです